

# 都市再生整備計画 事後評価シート

問屋町・浜尻町地区  
(地方都市リノベーション事業)

平成25年10月

群馬県高崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

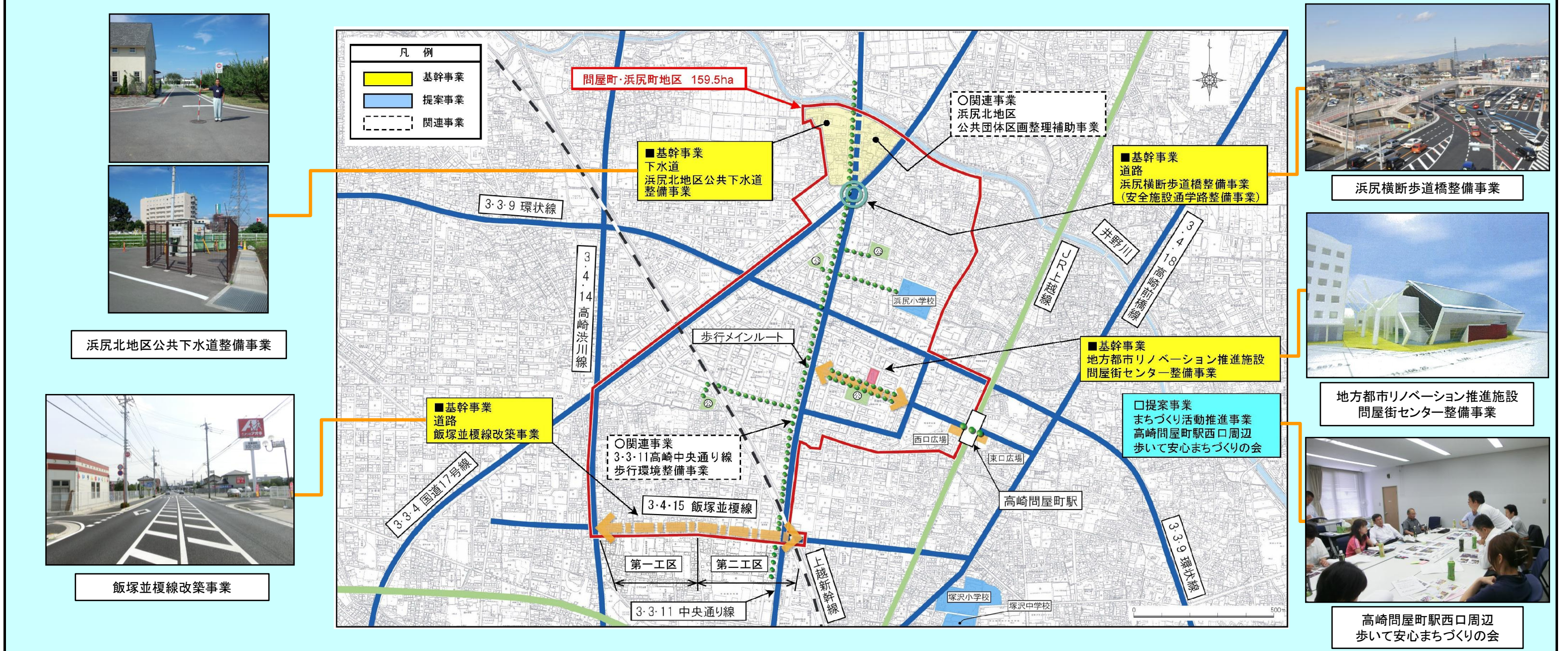
都道府県名	群馬県	市町村名	高崎市	地区名	問屋町・浜尻町地区(地方都市リノベーション事業)		面積	159.5 ha				
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	1,943.6 百万円	国費率	0.43					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(3・4・15飯塚並複線改築事業(第一工区)、3・4・15飯塚並複線改築事業(第二工区)、浜尻横断歩道橋整備事業(安全施設通学路整備事業)) 下水道(浜尻北地区公共下水道整備事業)									
		提案事業	まちづくり活動推進事業(高崎問屋町駅西口周辺歩いて安心まちづくりの会)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)		・地方都市リノベーション事業計画への移行のため削除。	・事業関連の変更ではないため、指標に影響なし。						
	新たに追加した事業	基幹事業	地方都市リノベーション推進施設(問屋街センター整備事業)		・都市機能(商用施設)を充実させ、主体的な住民活動の活性化を促し、持続可能な都市構造の形成を図るため追加。	・地域商業系の既存核施設の更新として、指標1に影響することも予想されるが、数値は据え置く。 ・直接的な事業成果と経済活動の活性化を検証するものとしてその他の数値指標2を設定する。						
		提案事業	なし		-	-						
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	住環境に関する満足度向上	%	54	H20	65	H25	-	63	△	あり ● なし	・実数としては下回ったものの極めて高い評価を得ており、目標達成とほぼ同等の成果であった。 平成26年9月
	指標2	住民主体のまちづくり活動への参加意識向上	%	45	H20	55	H25	-	46	△	あり ● なし	・都市基盤整備に重点をおいた計画で地域活動に資する事業内容が少なく、まちづくりに関する意識喚起が図れなかった。 平成26年9月
指標3	浜尻北土地区画整理地区北端から「浜尻小学校」への通学(徒歩)時間の短縮	分	18	H20	15	H25	-	14	○	あり ● なし	・国道17号の横断歩道信号待ちの解消と浜尻横断歩道橋階段の勾配が緩く歩行性が改良されたこととの相乗効果によりアクセス時間が目標値以上に短縮できた。 -	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	鉄道利用者数	人	2,150	H20	/	/	/	/	・地域全体の都市的環境が整備され定住者の他、就業者や学生の利用者が増加した。 平成26年3月		
その他の数値指標2	一般消費者向け販売イベント(上州どっと楽市 4日/年)1日あたり来場者数	人/日	15,134	H22～H24平均	/	/	/	/	・現在は会場の「問屋街センター」が建替工事中であるため、建設完了後での当該イベント来場者数を計測し、評価を確定する。 平成26年12月			
4)定性的な効果発現状況	・浜尻横断歩道橋の完成と「3・3・11中央通り線」の国道17号以北開通による「浜尻交差点」の整備により、これまで閉鎖的な印象であった当該エリアに、きわめて開放的で明るく、シンボリックな都市景観が形成された。 ・「問屋町駅西口周辺歩いて安心まちづくりの会」の活動成果のうち、通学路上の課題解決に対する評価が高く、児童生徒や保護者から、調査範囲を拡大した継続活動の要望が多い。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング	事業担当部署とのミーティングの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	・担当部署が連携し、継続した事業効果の検証を進める。				
	住民参加プロセス	高崎問屋町駅西口周辺歩いて安心まちづくりの会の活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	・本地区は業務系の地域も含まれ、住民主体のまちづくり活動に対しては十分な参加意欲が認められなかった。今後は、業務系も含めた「防災、防災」をテーマとしたまちづくり活動の推進を検討する。				
持続的なまちづくり体制の構築	高崎問屋町駅西口周辺歩いて安心まちづくりの会の活動内容の充実		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	・広報や市のHP等による情報発信により、参加者の増加やテーマの掘り起こしなど、対象の拡大を進める。 ・まちづくり活動やエリアマネジメントの実例についての啓発に努める。					



## 様式2-2 地区の概要

### 問屋町・浜尻町地区(地方都市リノベーション事業)(群馬県高崎市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
◎ 歩道環境整備等による地域的連絡性の強化  ● 地域幹線道路と横断歩道橋整備による都市基盤と歩行環境の充実 ● 地域主体のエリアマネジメントを目指した住民活動の活性化	住環境に関する満足度向上	単位: %	54 H20	65 H25	63 H25
	住民主体のまちづくり活動への参加意識向上	単位: %	45 H20	55 H25	46 H25
	浜尻北土地区画整理地区北端から「浜尻小学校」への通学(徒歩)時間の短縮	単位: 分	18 H20	15 H25	14 H25
	鉄道利用者数	単位: 人	2,150 H20		3,015 H25
	一般消費者向け販売イベント来場者数(上州どっと楽市 4日/年)	単位: 人/日	15,134 H22~H24平均		16,150 H26予想



**まちの課題の変化**

- 「3・4・15飯塚並榎線」は、事業予定区間の完全整備は図れなかったが、そのうちの整備済み区間では、交通渋滞の緩和や沿道環境改善、また都市景観の向上など、目に見える大きな成果が表れている。
- 「浜尻横断歩道橋」の整備により、児童生徒の登下校時間の短縮が図られたと同時に、国道17号によって分断されていた(南北)浜尻地区の連絡性強化と、コミュニティー形成力強化が達成された。
- 当該地区の拠点として地域に根ざしている「問屋街センター」の「展示会館」の建替えを行うことにより、既成市街地の持続性ある向上とともに、商業業務系のさらなる集積が期待されることから、周辺都市基盤施設の充実が急務となっている。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- 高崎市の内環状線(都心環状線)の役目を担う「3・5・15飯塚並榎線」の事業予定区間の完全整備を契機として、渋滞が少なく沿道土地利用の活発な市街地形成を目指す。
- 本地区固有の特性である、住居系と業務系に区分される土地利用形態のなかで、安全な市街地環境の普遍的テーマである「防犯と防災」を主眼としたまちづくり活動を展開し、地域主体のエリアマネジメントに対する関心度と実践力の向上を図る。
- 地方都市リノベーション推進施設である「問屋街センター」の「展示会館」の整備と同様、民間活力を最大限活用しながら、地場産品の展示即売や物販イベントなどの開催促進を図り、「商都たかさき」ならではの地域活動が展開されるまちづくりを推進する。
- 公共事業の有効性を検証するため、地域住民の意向調査を適宜実施し、事業内容のPRや有効性検証に努める。